

津波ハザードマップ

Tsunami Hazard Map of Shirako Town

白子町



わが家の防災メモ

家族が別々の場所にいるときに災害が発生した場合など、お互いの安否を確認できるように、あらかじめ避難所や緊急連絡先について話し合っておきましょう。

避難所名	備考
指定避難所	
指定緊急避難場所	
津波緊急避難ビル	

家族・親族・知人の連絡先

氏名	電話番号	住所	備考

氏名	電話番号	住所	備考

白子町役場

〒299-4292
千葉県長生郡白子町関5074-2
TEL:0475-33-2111(代表) FAX:0475-33-4132

発行:白子町役場 令和6年3月
制作:北海道地図株式会社

4 地震への対処と避難

▶地震が起きたら…

地震が起きたとき、とっさの判断は難しいものです。日ごろから、いざというときの行動を確認しましょう。

1 まず、身を守る

机の下などにぐもり、身を守りましょう。

2 安全を確認して 火の始末

コンロなどの火を消す(火が出ても落ち着いて初期消火しましょう)。

3 出口を確認

家が傾いてドアが開かなくならないように、すばやく窓や扉を開けましょう。

4 わが家の安全確認

火災、家屋倒壊の危険やガス漏れなどを確認しましょう。

避難先へ!! 安全な親戚宅や知人家、指定緊急避難場所などへ避難しましょう。

避難は徒歩!! 持ち物は少なく!!

- 動きやすい服、ヘルメット、底の厚い靴。
- 家族への連絡メモを残す。
- ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る。
- 火の元の確認と消火。

危険なら… 安全なら…

5 情報確認

近所の人と声をかけ合って安全を確認め、正確な情報を集めましょう。

5 避難時の留意点

地震発生時は下記の項目に注意し、落ち着いて行動しましょう。余震にも慌てず対処しましょう。

ガスの元栓を閉める

避難する前にガスの元栓を閉め二次被害を防ぎましょう。

ブレーカーを落とす

停電しているときでも必ずブレーカーを落としてから避難してください。

電線や電柱に近づかない

切れた電線や損傷した電柱は、接触すると感電する恐れがあります。

海岸から離れる

海の中にいる人は、直ちに海から上がり、海岸から離れてください。とにかく高い所へ避難しましょう。

助け合って避難を

子どもや高齢者、病気の人は避難に時間がかかるので、早めに行動しましょう。

ペットと避難

ペットと飼い主は行動を共にすることが原則ですが、避難所ではペットと一緒に生活できる設備が整っていません。安全な場所にある親戚・友人の家に避難することや、車中での避難を想定し、日ごろからキャリーバックやケージを準備しておくください。

1 ハザードマップの活用法

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、ハザードマップを活用して自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー 必ず取り組ましましょう!

あなたがとるべき避難行動は?

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地などにお住まいの方は、白子町役場からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。ただし、着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

町からの「避難指示」の発令を待つことなく、自主的かつ速やかに津波緊急避難ビルなどの安全な高い場所に避難しましょう。

各項目を参考にして 平素から災害に備え安全を確保しましょう。

- 平素からの備え ➡ 2
- 地震への備え ➡ 3
- 地震への対処と避難 ➡ 4
- 避難時の留意点 ➡ 5

今後想定される大規模地震

想定される大規模地震	地震が発生する確率
首都直下地震	南関東域で30年以内にマグニチュード7クラスの地震が発生する確率:70%
南海トラフ地震	30年以内にマグニチュード8~9クラスの大規模地震が発生する確率:70%程度

津波を知る・理解する

▶津波ってなに? どうして起こるの??

津波は海底で発生した地震に伴う海底の隆起・沈降、地すべり、海底での地崩れ、海底火山の噴火などによって引き起こされます。海底で起きた現象によって、海水が陸地に押し寄せる現象を「津波」といいます。

1 海のプレートが陸のプレートの下に沈み込む。

2 陸のプレートの先端部が海のプレートに引きずり込まれて「ひずみ」が発生。

3 ひずみが限界に達し、陸のプレートが耐え切れずにはね上がることで「地震」が発生。

4 はね上がった勢いで周辺の海水が大きく押し上げられ「津波」が発生。

津波が発生すると、津波の高さが平常時の海面の高さよりも高くなります。津波の高さは、津波の速さ、津波の長さ、津波の深さによって決まります。

津波の速さは、津波の長さ、津波の深さによって決まります。津波の速さは、津波の長さ、津波の深さによって決まります。

津波の深さは、津波の長さ、津波の速さによって決まります。津波の深さは、津波の長さ、津波の速さによって決まります。

津波の発生は、津波の長さ、津波の速さ、津波の深さによって決まります。津波の発生は、津波の長さ、津波の速さ、津波の深さによって決まります。

津波の発生は、津波の長さ、津波の速さ、津波の深さによって決まります。津波の発生は、津波の長さ、津波の速さ、津波の深さによって決まります。

▶津波から身を守るために 知っておきたい留意点

津波は繰り返し来る!

津波は2波、3波と繰り返し襲ってきます。注意報・警報が解除されるまでは避難してきましょう。

津波のスピードは速い!

「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあり、津波の速さは海岸付近でも時速36km(秒速10m)程度もあります。

津波の高さに注意!

海岸の地形などによって予想された津波の高さを超える津波が発生する場合があります。

引き潮がなくても注意!

津波の前に必ず引き潮があるとは限りません。地震の起こり方や地形によっては引き潮が起こらない場合もあります。

川や水路を遡上する

海岸に到達した津波は、川や水路を遡上します。逆流した水で川の堤防が決壊し、内陸部から津波が襲くこともあります。

弱い地震でも要注意!

弱い地震でも揺れが長く続いた時などは津波が襲ってくる可能性があります。

2 平素からの備え

自宅の災害リスクに応じて物心両面の備えをしましょう。避難の必要がない場合も、停電や断水に備えましょう。

自助・共助・公助の連携 災害による被害を最小化するには、自助・共助・公助の連携が必要です。

自助 自分の身を自分の努力によって守る

町をはじめ県、消防、警察、自衛隊など 防災関係機関の行動

共助 地域や近隣の人がお互いに協力し合う

公助 地域・自治体の防災力 災害時の被害を抑える

自助 「自分や家族で出来る防災活動」 自分/家族

- 3日以上分の飲料水や食料、生活必需品の備蓄 (できれば1週間分)
- 非常用持ち出し品の準備
- 家族会議を行う
- 風水害に備えて家の周りや建物を確認

「家庭での備蓄品と非常持ち出し品チェック」を参照

共助 「隣近所や地域での防災活動」 地域/自主防災組織/自治会

地域の防災点検

日頃からの大和を大切にしたい。良好な近隣関係を築きましょう。

公園・広場などの位置や危険箇所などの確認

自主防災組織の強化

防災訓練への参加、連携、協力体制の確認

避難行動要支援者要配慮者への配慮

支援が必要な人の把握、支援体制づくり

避難所運営への協力

物資等の配布、生活環境を良好に保つよう協力できる体制

公助 「防災関係機関での防災活動」 行政など防災関係機関

●防災関係機関の災害対策などを定めた地域防災計画の作成

●避難場所の指定及び備蓄物資、資機材の整備

●公共施設の耐震化

●防災施設(防災行政無線、備蓄倉庫など)の整備

●災害発生時の救助活動

●電気、ガス、水道などのライフラインの応急対策

●自助・共助の取組への支援

●防災訓練の実施

情報の収集

災害に関する情報を継続的に収集してください。【警戒レベル 4】で危険な場所から必ず避難してください。

テレビ

「地デジ」による防災・災害情報の提供

※NHKデータ放送(dボタン)で確認

ラジオ

NHK第1:594kHz
NHK第2:693kHz
NHKFM:80.7MHz
ニッポン放送:1242kHz
bayfm:78.0MHz

防災行政無線

町では、防災行政無線の放送内容をメール配信サービスで配信しています。右記QRコードからメール配信した防災情報を確認できます。

白子町メール配信サービス

白子町から緊急性の高い情報や生活情報等をメールでお知らせします。有事の際に備えて住民の皆さんの登録をお願いします。

○防災情報 災害情報や緊急情報、防災行政無線で放送した内容、J-ALERT(全国瞬時警報システム)に関する国保連情報・津波情報などを配信します。

○生活情報 町からのお知らせや、観光情報などを配信します。

各種情報の収集手段 QRコードを読み取るか、検索してみよう!

国土交通省

気象庁 防災情報 気象庁 防災情報 気象庁 防災情報

河川の水位に関する情報入手ができます。

千葉県

千葉県防災ポータルサイト

千葉県防災ポータルサイト

白子町

白子町防災 X (Twitter)

白子町防災 X (Twitter)

スマホアプリ

白子町防災 X (Twitter)

白子町防災 X (Twitter)

指定公共機関

東京電力 停電・電線設備問い合わせ

NTT 不安定設備受付

災害用伝言ダイヤル171

自分の無事を知らせるために録音する

相手の無事を確認するために再生する

3 地震への備え

早期に情報を収集して身の回りの準備を確かめ、災害に備えましょう。

普段からどう行動するか決めておきましょう

▶行政が指定した緊急避難場所への避難

津波緊急避難ビルを事前に確認しましょう。

▶安全なホテル・マンションへの避難

津波緊急避難ビルを事前に確認しましょう。

地震災害に備えましょう

地震は突然起こります。家族の安全と被害を最小限に食い止めるためにも、日頃からの安全対策等の準備が必要です。家族で防災について話し合い、災害から身を守りましょう。

▶わが家の耐震診断

家の間取りから、水まわり、ガスの位置、電気のブレーカー、家具の位置をチェックする。建物の耐震診断は専門家に相談し、補強等を実施する。

▶燃えやすいものを置かない

二次災害を防ぐため、台所のガス台付近、ストーブのまわりなど、火元となる場所に燃えやすい物を置かない。

▶高い所に重い物を置かない

地震時の落下によるケガの原因になるので、家具の上にテレビなどの重い物を置かない。

▶家族で話し合い

家族の役割分担や、途中で家族が離ればなれになった場合の集合場所も決めておきましょう。

▶地震の震度 (気象庁震度階級)

震度 1

屋内で静かにしている人の中には、揺れを感じる。眠っている人の大半が目を見ます。

震度 2

屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の大半が目を見ます。

震度 3

屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人の大半が目を見ます。

震度 4

歩いている人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人のほとんどが目を見ます。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。

震度 5弱

大半の人が恐怖を覚え、物につまづいたりと感じる。棚にある食器類、書籍の本が落ちることがある。

震度 5強

物につまづかないと歩くことが難しい。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

震度 6弱

立てていることが困難になる。固定していない家具が移動し倒れたり、ドアが開かなくなることがある。

震度 6強

はわないと動くことができない。破損・落下する建物が多くなる。大規模な地すべりや、山体崩壊が発生することがある。

震度 7

揺れにほんろうされ、動くことができない。倒壊する建物も多く、壊れるものが多い。

家庭での備蓄品と非常持ち出し品チェック

いざという時のために下記リストを参考に準備しましょう。また、備蓄品の飲食物は保存期限に注意しましょう。

▶備蓄品 (最低3日分の準備をしておきましょう。できれば、7日分の準備を心がけましょう。)

- 食料: 飲料水 (1人1日3リットル)、缶詰、インスタント食品、乾パン、缶詰、缶詰、缶詰
- 生活用品: 毛布、寝具、洗面用具、鍋、やかん、バケツ、トイレ用ペーパー、携帯トイレ、使い捨てカイロ
- その他: ビニールシート、新聞紙、車上ライト(予備の乾電池含む)、ガムテープ、ロープ、ポリタンク

▶避難時は両手が使えないリュックが便利!!

▶赤ちゃんがいる場合

- ミルク、食料びん
- 乳幼児用の薬
- 離乳食、食器
- 母子健康手帳
- お尻拭き
- 消毒剤
- 帽子、防寒着
- 紙おむつ
- バスタオル
- おんぶひも
- ガーゼハンカチ
- 衣類(着替え)

▶介護を必要とするお年寄りがいる場合

- おかゆなどの食品(介護食)
- 障害者手帳、介護保険証など
- 紙おむつ
- 帽子、防寒着
- 衣類(着替え)
- 介護用品
- お尻拭き
- 常備薬

※介護の状態などに応じて備えてください。

▶女性用に準備

- 生理用品
- サニタリーショーツ
- 水無しシャンプー
- 下着
- 除菌ジェル・スプレー
- ハンドクリーム
- 防犯ブザー
- ウェットティッシュ
- 歯磨きガム
- ガムテープ
- ポンチョ

実践! ローリングストック法

日常の食材のストックと災害用の食料品とを分けずに、常に少し多めに一定量の食料品を家に備蓄しておく方法をローリングストック法と言います。食料品を一定量に保ちながら、消費と購入を繰り返すことで、備蓄品の腐敗を防止、いざという時に日常食生活に近い食生活を送ることが目的です。

▶非常持ち出し品 (すぐに持ち出せるように、リュックなどにまとめておきましょう。)

- 貴重品: 現金、キャッシュカード、預金通帳、印鑑、免許証、健康保険証、マイナンバーカード
- 非常食: 飲料水(ペットボトル)、栄養補助食品、菓子類
- 応急: お薬手帳、持病薬、常備薬(風邪薬・傷薬など)、ばんそうこう、消毒液、マスク、除菌シート、体温計
- 生活用品: 衣類、防寒着、雨具、タオル、ティッシュ(ウェット)、運動靴、軍手、帽子又は防災ずきん、ライター、ビニール袋、ラップフィルム
- その他: 携帯ラジオ、携帯電話、充電器、懐中電灯、ホイッスル、電池、筆記用具、メガネ

※感染症対策のため

- マスク
- 除菌シート
- 体温計